

1. 科目名 (単位数)	教育学概論 (初等・小) (2 単位)	3. 科目番号	EDTE1101
2. 授業担当教員	金 龍 哲		
4. 授業形態	講義・演習	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・ 他科目との関係			
7. 講義概要	<p>本科目は教育という営みに深い関心を持ち、「教育とは何か」ということを考え始めている人に対し、教育(学)の基本的な概念と基礎理論について概括することを通して、受講者一人ひとりが、教育(学)の観点から今日の「子ども」を取り巻く環境の変化をふまえた「よりよい教育」のあり方を考える上で求められる基礎的知識の修得を目的とする。具体的には、主に小学校教諭になるための土台となる教育の基本的概念や理念にはどのようなものがあり、教育の歴史や思想において、それらがどのように現れてきたかについて学ぶとともに、これまでの教育及び学校の営みがどのように捉えられ、変遷してきたのかについて、受講者同士の対話をとおして理解を深めて行く。</p>		
8. 学習目標	<p>本講義は、本科目の目的を達成するために、以下の目標を設定する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教育のさまざまな側面に触れることで、各自のこれまでの教育概念を揺さぶり、それぞれが教育という営みを再考できるようになること。 2. 教育に関する代表的な論考やアプローチから教育の射程の広さを学び、教育理解に関する柔軟さ、そして教育実践における覚悟と責任と寛容さを培えるようになること。 3. ディスカッションや発表を通して、表現力やコミュニケーション能力の向上を図ること。 		
9. アサインメント (宿題)及びレポート課題	<p>授業で扱う内容を事前に予習しておくこと。 授業中、質問したり、議論したりすることで意欲的に授業に参加し、ともに授業を作っていく習慣をつけること。</p>		
10. 教科書・参考書・ 教材	<p>教科書 金龍哲編『現代社会の人間形成』三恵社、2016年。 参考書 今津孝次郎・馬越徹・早川操編『新しい教育の原理』名古屋大学出版会、2007年。 広岡義之・貝塚茂樹編『教育の歴史と思想(ミネルヴァ教職専門シリーズ)』2020年。</p>		
11. 成績評価の規準と 評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教育学の基本的概念・教育に関する歴史・思想を理解し、自分の言葉で説明できる力を身につけたか。(知識・理解) 2. 教育理解に関する柔軟さ、保育・教育実践に求められる態度・姿勢を身につけることができたか。(関心・意欲・態度) 3. 教育学に関する基本的な理論を理解した上で、教育という営みを再考することができるようになり、ディスカッションや発表を通して自分の意見を伝える力を身につけることができたか。(判断力・表現力) <p>以上の観点をふまえ、下記の1～3によって評価する。</p> <p>○評定の方法</p> <p>【授業への取り組み姿勢、授業内での課題提出、期末レポート等を総合して評価する。】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業への取り組み姿勢(ディスカッションやグループワークへの積極的参加度) 総合点の30% 2. 授業内での課題提出(小テスト・中間レポート等) 総合点の40% 3. 期末課題 総合点の30% 		
12. 受講生への メッセージ	<p>授業とは、単に受け身的に聞くものではなく、自ら参加し、質問をしたり、議論をしたりしながら教師とともに作っていくものです。当事者意識、主体者意識は授業効果を上げる大事なポイントです。これから教師を目指す皆さんにとって、生徒を授業に参加してもらいながら共に作っていくのは避けられない課題です。生徒と教師が協力して作る授業は、すでに世界的に始まっています。皆さんと、ともに工夫をしていい授業を作っていくことを楽しみにしています。</p>		
13. オフィスアワー	初回の授業、オリエンテーションで周知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション —授業の目的、方針及び進め方について	事前学習	教科書の「はしがき」を読み、授業で扱う内容の概略を把握しておく。
		事後学習	オリエンテーションを通して新たに生じた疑問点や質問を整理しておく。
第2回	教育とは何か① —「教育的存在」としての人間(討論)	事前学習	第一章「教育と人間」1-3節 pp. 1-10を読む
		事後学習	人間にとっての教育の意味を確認し、教育的存在としての人間の在り方についてまとめる。
第3回	教育とは何か② —協議の教育と講義の教育、意図的教育と無意図的教育(討論)	事前学習	教科書第1章4-5節 pp. 11-16を読む
		事後学習	協議と講義の教育概念について理解し、自分なりにそれを説明できる事例を挙げておく。
第4回	学校教育の制度的展開① —学校はいつから、なぜ始まったか	事前学習	教科書第2章「学校教育の制度的展開」pp. 17-22を読む
		事後学習	教育が制度化した歴史的背景と公教育制度三原則をまとめる。
第5回	学校教育の制度的展開② —義務教育の基本的構造(討論)	事前学習	第2章「義務教育の基本的構造」pp. 22-28を読む
		事後学習	義務教育の類型を理解し、制度が抱えている諸問題整理しておく。
第6回	教育の先駆者たちの思想① —今の教育の基礎を作った思想と原理	事前学習	教科書第3章1-2節 pp. 29-34を予習する。
		事後学習	近代教育を形作ったコメニウス、ロック、ルソー、コンドルセの基本的な考え方をまとめる。

第7回	教育の先駆者たちの思想② —「近代社会」と「近代教育」を支えた思想	事前学習	教科書第3章3-4節 pp. 34-41 を読む。
		事後学習	近代化過程において教育のさらなる発展に貢献し、また新教育運動を支えた思想家たちの主要な考え方をまとめる。
第8回	子どもは「発見」された？	事前学習	教科書第4章1-3節 pp. 42-46 を読んでおく。
		事後学習	子どもとは何かについて問い続けてきたルソーやアリエスの考え方を整理する。
第9回	現代社会の子どもの特徴（討論）	事前学習	教科書第4-5節 pp. 47-53 を読んでおく。
		事後学習	討論を通して得られた情報、自らの体験等をもとに、自分なりの子ども観の構築を試みる。
第10回	教科書をめぐる制度と法律 —教科書、教材、教育課程	事前学習	教科書第5章 pp. 54-64 を読んでおく。
		事後学習	教科書、教材、教育課程、学習指導要領、教育課程編成主体の法的根拠を整理する。
第11回	21世紀の社会と新しい学力観	事前学習	第6章「21世紀型学力」 pp. 65-77 を読む。
		事後学習	求められる資質や能力、教育評価の在り方の変化を踏まえて「新しい学力観」の要素をまとめる。
第12回	分かりやすい授業をどう作るか —よい授業の作り方と進め方	事前学習	教科書第7章「知ることを学ぶ」 pp. 78-89 を読んでおく。
		事後学習	わかりやすい授業を基本的要素と進め方の手順をまとめる。
第13回	学ぶ集団を作る視点に立つ学級経営	事前学習	教科書第10章「学ぶ集団を育む—学級経営モデルを探る」を読んでおく。
		事後学習	学級経営の3モデルの要点をまとめる。
第14回	教師は専門職か —教職をめぐる動向を探る	事前学習	教科書第13章「専門職としての教師の育成」 pp. 157-166 を読んでおく。
		事後学習	教師が専門職とするために必要な要件等について、国際比較の視点からその課題を整理する。
第15回	まとめ —文化多様性の視点から見る教育の課題	事前学習	教科書第14章「共に生きることを学ぶ」 pp. 169-185 を読んでおく
		事後学習	多文化共生社会に必要なマインドをまとめる。
期末試験			